包括的な学校改善の視点：教員の資質能力向上、教育課程・学習指導

目指す子ども像の実現に向けた教員の資質能力向上学校モデル

中核校	別海町立別海中央小学校	指定校	別海町立別海中央中学校 別海町立中西別小学校、別海町立中西別中学校

■　構築した学校モデルの具体

○　ＩＣＴを利活用した教育活動の充実

・１人１台端末を利活用し、個別最適で協働的な学びにつながる授業を日常的に実施する

○　教員の資質能力向上

・ニーズに合わせたメンター研修の実施により、初任段階教員の資質能力の向上を図る。

・メンター研修の実施を通して、ミドルリーダー層及びベテラン層の資質能力の向上を図る。

・月例公開授業において日常の授業を公開することにより、授業改革を推進する。

○　幼小中の系統性を踏まえた学習指導の改善

・幼小中の系統性を踏まえた指導内容の重点化、学習規律の見直しを含めた学習指導の改善を図る。

【ＩＣＴを利活用した授業】

【月１回のメンター研修】

【全教職員参加の目指す子ども像会議】

■　学校モデルの構築に向けた取組の具体

〔管理職の取組〕

・グランドデザイン作成に伴い、全教職員参加による「目指す子ども像会議」を開催した。全教職員が参加することにより、目指す子どもの姿が全職員に共有され、子どもを主語にした学校経営を目指し、教職員が自走できる組織づくりを構築した。

・校内のＧＩＧＡ部会を中心とした研修を年３回実施するとともに、ＧＩＧＡ部会員を中心にＩＣＴを効果的に活用した授業を日常的に公開し、学校全体の指導力の向上を図った。

・主幹教諭を核として、初任段階教員へのアンケートに基づいた研修テーマによる、月１回のメンター研修を指定地域４校合同で実施した。

・月例公開授業において日常の授業を公開し、指定校や近隣校に広く参加を呼びかけた。

・幼小中の授業公開日において授業を積極的に相互参観し、幼小中の系統性について理解を深めた。また、架け橋期のカリキュラムを協働して作成することの重要性を確認した。

〔専科教員の取組〕

・第３学年～第６学年の理科の授業を理科専科が担当することにより、４年間を通して指導すべき科学的な見方・考え方を重点的に指導するなど、系統性を意識した理科の授業改善を行った。

・専科教諭の積極的な授業公開により、他の教員の理科に関する専門性の向上を図った。

・専科教員が中心となり、指定校における教科指導や、理科の指導について小中の連携を推進した。

■　各指定校への学校モデルの普及方策

・町教育研究協議会において、学校モデルの構築に向けた取組について、中核校及び指定校の全教職員へ説明し、取組の方向性を共有した。

・定期的に開催する地域協議会において、効果的な取組事例を交流し、指定校において実践した。指定校での実践を踏まえて再度交流し、よりよい取組へと軌道修正を図った。